

美術科教育学会通信

1994年 3月 3日発行：美術科教育学会本部事務局

〒184 東京都小金井市貫井北町4丁目1-1 東京学芸大学美術学科 No. 12
柴田・増田研究室 TEL. 0423(25)2111 (内線2857, 2856) FAX. 0423(21)3695

第16回美術科教育学会の開催へ向けて

学会代表理事 宮脇 理

来る3月末には、第16回美術科教育学会が信州大学において開催されますが、口頭発表が67件という盛況であり、これもひとえに会員の皆さん、学会理事・監事の積極的な支援とご協力の結果であると思われます。それはまた直接学会の運営をプロデュースされてきた、前本部事務局（愛知教育大学）と現在の運営を進めている東京学芸大学、そして開催大学である信州大学の皆さんの労に多くが起因するところであります。

想えば1992年3月に当学会の代表理事をお引き受けしたその時期は、鈴木寛男前代表理事が学会設立のマニフェストを掲げ、奈良の地に産声をあげてから満13年を経ていたわけです。その間、第15期日本学術会議の学術研究団体として登録され、また400人にも及ぶ学会会員を擁するまでに至ったことは、必然的に次の「学会充実」の段階を迎える状況にありました。事実、1992年3月の総会では「研究部会」設立の方向が提案されております。

ところで学会の「充実」とは単に新規のスローガンを掲げるのではなく、いかに前段階を引き継ぎ、その質的深まりを試行するかにあります。3月開催の学会では「研究部会」の設立について、その方向を具体的に提案することになりますが、このことは美術科教育学会主催の学会公開シンポジウムの結果から連動しているといえます。当学会の公開シンポジウムは通称「出前シンポ」と称される如く、すべて自前によって設営から参加までを実行するものであります。若干これに触れますと第1回「国際化・文化主義の中の美術教育の可能性」（東京・池雪小）、第2回「楽しい図画工作・美術教育をめぐって — 遊びが教育に成り得るだろうか —」（大阪・サクラクレパスビル）、第3回「造形教育における感性の位置づけ」（横浜・横浜美術館子どものアトリエ）、第4回「美術教育の今日的課題 — 現代の流動的状況からの問い直し —」（東京・東京学芸大学）、第5回「信州の自由画運動とこれからの美術教育」（長野・信濃教育会館）、第6回「個性がふれあう造形教育」（富山・豊田小）の6回が実施されました。学会の熱源として企画した学会シンポジウムの内容・規模・形式は全く自由であります。その中軸は学会の充実へ向けてのネットワークづくりであり、その成果をめぐっては、当学会の支援研究誌として在る『アート エデュケーション』4月発刊（季刊・第22号）の座談会において、特集として発表されます。

さて「学会充実」のための研究部会一つに「基礎データベースの構築」部会があります。その意図するところは、学会発表や公開シンポジウムに見られる研究対象の整理にあります。広範な作業を必要としますが、現段階では美術科教育学会に限定した研究内容の体系づくりに重点が置かれると思います。研究の重複を避け、自己愛的なデリケートな研究が真にすぐれた視野の中に位置づけることを願うものです。（1994年2月）

ミニインフォメーション

1. 信州大会関連

3月28・29・30に開催されます信州大会では、インフォメーションコーナーを設けます。広く紹介したい会員の出版物やイベント・研究情報などご持参ください。また当日はいくつかの出版社による展示も行なわれる予定です。

大会参加費・懇親会費はできるだけ事前に郵便振込みでお送りください。参加費4,000円（一般5,000円 学生2,000円）懇親会費5,000円【口座番号】長野0-504【加入者名】美術科教育学会信州大会事務局。

2. 出前シンポの予定

- ① 6月4日（土） 和歌山大学 「総合化・選択化の中の美術教育」
- ② 8月12日（金） 佐賀大学 「文化と伝統の継承」
- ③ 9月20日（火） 北海道教育大学（函館） 「美術教育の地域比較」
- ④ 11月（日程未定） 宮崎大学 「基礎データベース構築」

東京都工教育研究会との共催シンポも計画中です。

3. 学術会議関係

第16期学術会議会員候補者として宮脇代表理事を届け出ました。但し、1000を越える登録学会に対し、約250の会員枠しかない現状では、当学会から会員を送り出せる可能性は殆どないのが現実です。

4. 新入会員の紹介

五貫研司 岩崎一男 岩崎清 上野行一 太田将勝 大西孝一 鬼丸知美 金芝均
木村理恵子 栗山誠 黒井美智子 小松省三 近藤康太 錢初焜 高岡妙子
高野直美 瀧ヶ崎正彦 田村和也 豊島和加子 西村真二 芳賀正之 長谷川善則
水谷喜英 与那城務（敬称略、昨年9月に事務局を引き継いでからの入会者）

5. 会費納入について

94（平成6）年度の会費を納入下さい。年会費は正会員6,000円、賛助会員20,000円です。納入は郵便局で「郵便貯金総合サービス用の払込通知票」によりお願い致します。

なお、次回の学会通信発送の際、未納年度を宛名シールに明示して、会員各位にお届けする予定です。

【口座番号】10050-64710321

【加入者名】美術科教育学会本部事務局 会計担当 増田金吾

（加入者については、会計担当 増田金吾 までお書きください）

6. 住所変更についてのご留意

最近、受け取り人不明で、学会からの郵便物が返送されてくるケースが増えています。転居される場合には、必ず新住所をお知らせください。

7. 学会への寄贈図書のご紹介

【日本・ドイツ美術館教育シンポジウムと行動1992】報告書編集委員会編
『街から美術館へ 美術館から街へ』 日本文教出版 1994（定価 2,400円）
柴田和豊 編 『メディア時代の美術教育』 国土社 1993（定価 2,800円）